平成 28 年 9 月 1 日発行　NO. 2155　第 2308 例会　　会長　渡邊 孝文　幹事　市原 豊彦　会報委員長　上原 広嗣

## 例会報告（平成 28 年 8 月 25 日）

### ガバナー公式訪問

10：40　集合　ＲＣ事務所　　打合せ
　　会長･幹事･会長ｴﾚｸﾄ･副幹事
11：00　懇談会（進行　会長）
　　ｶﾞﾊﾞﾅｰ･ｶﾞﾊﾞﾅｰ補佐･地区幹事長･ｶﾞﾊﾞﾅｰ補佐幹事
　　会長･幹事･会長ｴﾚｸﾄ･副幹事
11：45　会場設営　　全会員集合
　　ＳＡＡ委員長 越川忠会員

**例　会**

12：30　点鐘　　渡邊会長
○「君が代」ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
○「四つのテスト」唱和　　倉石会員
○ご来訪者紹介　　渡邊会長
　国際ロータリー2790 地区ガバナー　　青木貞雄様
　国際ロータリー2790 地区幹事長　　藤崎政弘様
　第 6 分区ガバナー補佐　　河野知宏様
　　ガバナー補佐幹事　　森川一喜様
　成田コスモポリタンロータリークラブ　城之内利彦様
◎ 食事
○会長挨拶・会務報告　　渡邊会長
○幹事報告　　市原幹事
○各委員会報告
13：00～13：25　卓話　　ガバナー青木貞雄様
○ニコニコボックス　　親睦委員
○出席報告　　出席委員
13：30　点鐘　　渡邊会長

**クラブ協議会**

13：40　開会の挨拶　　渡邊会長
15：10　閉会の挨拶　（写真撮影）　　渡邊会長
終了後、**懇親会**（あづま庵）

## 会長挨拶

本日は、クラブの行事の中でも大変重要なガバナー公式訪問でございます。青木ガバナーようこそいらっしゃいました。我がクラブがますます元気なクラブになるように、ご指導、ご鞭撻よろしくお願いいたします。先日の台風の被害、大丈夫だったでしょうか。まだまだ次の台風もひかえているような状況ですので十分注意して頂きたいと思います。
私もロータリーを理解して入ったわけではなく、知人の紹介で入り、特にロータリーの理念など読んだこともなく過ごしています。しかしながらロータリーの柱である職業奉仕については、経験から自分の職業（電気工事）を四つのテストの精神をふまえ行なうことにより、社会に貢献する事だと思います。また、ロータリーで出会った仲間とさらに社会奉仕に発展させていければその過程で自己を高める事ができると確信しています。本日は青木ガバナーの話を参考に出席率の向上、会員増強、会員の交流がさかんな元気なクラブ、魅力あるクラブ作りに頑張っていきたいと思います。会員の皆様も忌憚のない意見や質問をガバナーにぶつけてください。そして成田空港南ロータリークラブ次の 50 周年ますます発展するように力を合わせましょう。

## 幹事報告

①例会場変更のお知らせ
・小見川ＲＣ
②会報受領クラブ
・茂原中央ＲＣ　・八日市場ＲＣ
③ガバナー事務所より活動計画書のお礼状が届いてお

ります。
④「マハラジャ de 交流会」開催のご案内が届いております。(9/3 マハラジャ六本木)
⑤ロータリー財団 100 周年記念シンポジウム開催要項が届いております。(11/27 JP ﾀﾜｰﾎｰﾙ&ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ)
⑥2016-17 年度ＲＩ会長より創立 50 周年のお祝いのメッセージが届いております。
⑦地区研修リーダー白鳥様より残暑見舞いが届いております。
⑧東町区八坂神社祇園祭のお礼状が届いております。

## 卓話

国際ロータリー第 2790 地区
ガバナー　　青木　貞雄　様

国際ロータリー第 2790 地区 2016-17 年度ガバナーを拝命しました成田コスモポリタンＲＣの青木です。
Germ　ＲＩ会長より、各クラブの状況把握、及び支援はガバナー補佐の務めであり、ガバナー公式訪問は切磋琢磨するための複数クラブ間情報交換の場とするよう指示があったため、本年度は３クラブ合同が６ヶ所、２クラブ合同が 18 ヶ所、当クラブを含めた残り 29 クラブが単独で、7 月 27 日から 11 月下旬の間に 83 クラブを 53 回に分けて公式訪問させていただく予定で、本日が 11 回目（19 番目のクラブ）です。
尚、活動計画書に掲載した私の挨拶文の中の「４．複数クラブ合同ガバナー公式訪問」に記載されている訪問回数が間違っていますので訂正をお願いします。
また、私が所属する成田 RC は、地区出向経験者も少ない Domestic なクラブなので、公式訪問の機会を生かして各クラブの活動を体験させていただくべく毎回２人の会員が私に同行しています。本日は地区幹事長の藤﨑、及び城之内会員が陪席させていただきますので宜しくお願いします。
昨年度創立 50 周年を迎えられた当クラブは、長い歴史の中で地域社会に対する種々の奉仕活動を展開される共に、今年度も冨Ｒ米山記念奨学会委員会委員長、及び土屋Ｒ研修委員を輩出して地区の運営に協力いただく等、自クラブのみならず地区の発展にも多大の貢献をしていただいており、この場を借りて御礼申し上げます。
しかし、長年の歴史の中で最盛期に比べると減少した会員数の回復、活動マンネリ化等による出席率低下等、改善すべき課題もあるようで、これらについては後程のクラブ協議会で皆さんと一緒に解決策を検討したいと考えています。
さて、本日はまずＲＩのテーマ・方針、及び地区の行動指針・運営方針について、そして２番目にロータリーの変化と対応という２つのテーマについて話をします。
John F. Germ 本年度ＲＩ会長は、

１．ロータリーに誘われた時点で、私達は素晴らしい仲間と出会い、そして人のために役立つことをする大きな機会を与えられる。世界には多くの課題、助けを求めている人がいるが、我々に与えられた機会を生かすか否かは我々一人ひとりの行動にかかっている。そして我々は様々な分野から集った熱心で有能な職業人の集団であり、世界を変える力、ネットワーク、及び知識の結集がある。
２．我々はポリオ撲滅に取組んでいるが、ロータリーとは何か、そして何に取組んでいるかを地域に広め、資金援助者を含めた仲間、会員を増やすことが重要で、仲間が増えれば我々はより大きな目標を達成することが出来る。
３．単に会員を増やすのではなく、奉仕活動に取組み、新会員を暖かく迎え入れ、４つのテストを真に実践できる会員、リーダー、クラブが必要だ
４．P. ハリスがロータリーを創設した目的「価値観を分かち合える人をみつける」は現在も生きている。大切なのは、誠実さ、多様性、寛容、友情、平和を重んじ、人類への奉仕が人生最大の目的と信ずることだ。
５．ロータリアンは平等で、私たちはチームの一員だ。皆で協力して多くの人の人生を良いものにしよう。

と述べた上で、私は、ポール・ハリスと同様、人生最大の目的は人類に奉仕することと信じ、2016-17 年度のテーマを「Rotary Serving Humanity＝人類に奉仕するロータリー」としました。

そして対外的には、今やパキスタンとアフガニスタンの２ヶ国となった「ポリオの完全撲滅」、内部に向けては、より大きな目標を達成するための「会員増強」を重点取組み事項とすると共に、ロータリー戦略計画に基づき、

a)　クラブのサポート強化

b)　人道的支援の重点化と増加

c)　公共イメージと認知度の向上

に努めるよう私たちに求めました。

私は、志を同じくする集団は、その目的追及び活発な活動の展開に仲間の拡大が欠かせないと考えます。ただ人数が多ければ良いという話ではありませんが、ロータリーも同じで、会員が多ければ多いほど、私たちは素晴らしい仲間と出会う機会が増えます。また、奉仕活動を含めた種々の活動を活発に展開できます。そして、結果的に地域における知名度が高まり、新しい仲間の輪の拡大に繋がると思います。

「ロータリーとは何ですか？」、また「ロータリーは何をやっている団体ですか？」と聞かれ、答えに窮する会員も多いと思いますが、私は「自らの職業を通じ（倫理観は大前提）、また出来る範囲で周りの人の役に立つことをする心がけを持つと共に、価値観を分ち合う仲間とのFellowship、即ち友好関係を通じて自らを高める人の集まり」だと答えます。

従って、既にロータリアンとなって素晴らしい仲間との出会いを、そして他の人のために役に立つことが出来る機会を与えられている私達は、ロータリーに対して感謝の気持ちを持つと共に、この感謝の気持ちを分ち合う仲間の拡大に挑戦すべきと考え、地区行動指針を「感謝と挑戦」としました。言い換えれば、会員がロータリアンであることに感謝の念を持つことが出来るような活動を皆で展開していくことが重要です。

　東京のあるRCが、先日、東日本大震災で被災した福島の盲学校の生徒・先生をハワイに招待しました。依頼を受けて、私が出発に先立つ成田空港でのお手伝いをarrangeしたことから、帰国後、ハワイのロータリアン及び盲学校生と交流した時の参加者が感激した姿を見てロータリアンになって良かったとの感想を付したお礼のmailを頂戴しました。

このように、ロータリアンになって良かった思うことが出来る活動を一生懸命追及することが、ロータリーにとってだけではなく、ロータリアン本人にとって大事だと思います。

さて、当地区会員数は、1995年4月の4,378人をpeakに減少しましたが、2012年6月末の2,689人で底を打ち、その後わずかながら増加に転じ、至近の本年6月末は2,739人でした。しかし、地域特性もあり、2極化が進んでいて、会員数は最大のクラブが80名に対し、最少は5名です。50名を超える大きなクラブが14、40名台のクラブが9あると共に、貴クラブを含めた30名台のクラブが20で、これらを足すと43クラブとなり、全体の5割強です。他方、残り40クラブが会員29名以下で、そのうち13クラブは会員が19名以下です。

3年前、私が地区クラブ奉仕委員長兼会員増強委員長を拝命した折、委員の皆さんとアンケート調査等を行い、会員増強について色々研究した結果は以下の通りでした。

1)　会員減少期でさえ、当地区では毎年約100名の新入会員が誕生していました。問題は、入会者と同数、あるいはそれ以上の会員が退会したことです。尚、このような知見に基づき、私が会員増強委員長を務めた翌年から地区の組織が、「会員増強・退会防止委員会」に改称しました。

2)　後任が来る大手企業の社員の職場間異動を別にすると、退会者の多くは、高齢者、及び入会5年未満、特に入会2～3年の会員でした。

3)　会員歴5年未満の会員が退会する背景には、例会出席等の活動参加に時間的余裕がない、ロータリアンになったが活動に魅力がない・奉仕活動への取組みが少ない、幹部と意見が合わない等がみられました。会員増強に関する他地区の資料では、入会理由として職業上の繋がりが大多数で、退会理由としては、仲間意識の薄れ、親睦活動に魅力が無い等が多く見られました。

尚、これは避けて通ることが難しい問題ですが、会員数の増減はGDPの変化に呼応しているという見方もあります。

この様な状況を勘案すると、我々がまず取組むべきは、会員がロータリアンになって良かったと思うような活動をクラブが追求することによって退会者を減らすことです。具体的には、出席したくなる例会、参加したくなる親睦・奉仕活動の展開、及びロータリーを理解し、かつロータリー活動に対する関心を深める研修の強化です。

私が学校を卒業して企業に勤め始めた約50年前、職場では、部長は元より、課長の顔を見ることもまれでしたが、1990年代に入って産業のGlobalization、即ち国際化が進むと、企業間競争が激化し、大手企業でも今や課長・部長は元より、取締役も率先して仕事に

直接携わらざるを得ない状況、言い換えれば職位があがるほどに仕事が厳しくなり、中には、社長も大部屋で一般社員と一緒に仕事をする大企業も出てきました。ロータリーの根幹は職業奉仕であり、自らの職業をしっかり務めることが第１です。従って、気ぜわしい現在の世の中で貴重な時間をロータリー活動に割くには、私達は、今まで以上に魅力ある活動を展開しなければ会員の維持、また新規会員の勧誘は難しいと思います。

ロータリーは単年度主義と言いますが、これは会長、ガバナー等の任期で、会員は毎年変わりません。従って、運営は継続性を以って行われる必要があり、仲間の拡大に繋がる元気なクラブ造り、研修を通じた会員歴の短い会員の育成等は、継続的取り組みをもって対応する必要があります。

会員増強と言うと、「質か量か」の議論が先行し、行動が伴わないケースがよく見られます。クラブの中には、会員が少なくても、会員歴の長い会員を中心に模範的な活動を展開しているクラブもありますが、会員の加齢は避けて通ることが出来ず、このようなクラブは、新入会員、特に若年新入会員の勧誘に力を入れる必要があります。

ロータリー活動の経験が浅い私ですが、最近数年に地区委員、ガバナー補佐等を体験し、ロータリー活動・歴史等についての知識が豊富で、研究を常に怠らない会員と知合うことが出来ました。その結果、私は、斯かる仲間から色々教えを受けています。ロータリーには、ロータリー活動についての識見に富んだ会員も必要ですが、多くの会員にこのような活動を望むのは難しいと思うと共に、全員がこのような会員である必要は無いと思います。それよりも、例会に出席し、お互いに意見を交わし、知らないことを学んで成長していくとことが大事です。

111 年の歴史を通じて変化してきたロータリーには、こうでなくてはいけない、あるいはこうあるべきだと言う絶対はなく、それより多様性が重んじられると共に、理念を求めるよりも実践・行動が重んじられています。

従って、Germ 国際ロータリー会長の言にもある通り、4 つのテスト、ロータリーの目的、あるいはロータリアンの行動規範が実践できる人、また実践しようと考える人であれば、誰でもロータリアンになる資質を備えているのではないでしょうか。大事なことは、ロータリーに加入した新会員と私たちが一緒に学ぶ謙虚さを持つと共に、知らないことを教え合い、次の時代のリーダーを育てていくことです。

従って、今年度は、多くの新入会員を対象に研修強化が図れるよう、地区主催ではなく、約 10 年前まで行われていた分区別会員歴５年未満会員研修を復活させると同時に、結果として、ここ２年は秋の行事となった IM 開催を年明けに戻しました。

もう１つ考えるべきことは、創立 25、30 年を迎えたクラブの中に会員減少が顕著なクラブが見られることで、クラブ運営は常に課題を見つけ、その解決に一生懸命取り組んで、この時期を乗り切ることが重要です。

私は、会員増強と言わず、あえて仲間の拡大と言いますが、全てのクラブが元気なクラブとして充実した活動を追求し、志を同じくする仲間の輪の拡大に繋げていただくよう、今年度ガバナー月信最終頁で元気なクラブ紹介をしています。皆さんには、是非、他のクラブの模範となるような元気なクラブ活動をガバナー月信で披露していただくようお願いします。

ＲＩ会長は、会員 51 名以上のクラブに会員純増２名以上、50 名以下に純増最低１名の目標を我々に課していますが、皆さんには、会員数回復に向け、この目標以上の会員純増を是非実現していただくよう、そして同時に、①来年の R 財団 100 周年に向けて、例えば地域の奉仕プロジェクトに R 財団 100 周年記念事業の冠をつけていただく、また、②ここ２年続いている地区としての R 財団寄付ゼロクラブ０に向けた協力、出来れば上期の寄付納入、そして、③情報システム化が進む国際ロータリーに access するための My　Rotary 登録推進等をお願いします。

さて、本日の卓話の２番目のテーマは、変化するロータリーと、私たちの対応です。

今年１月、ガバナーになるため受講が必須の国際協議会に参加した折、来年６月に米国ジョージアジ州アトランタで開催される国際協議会のスポンサーにコカコーラ社が指名されたとの発表があると同時に、コカコーラの文字とロータリーのロゴマークが印刷された赤いセロファンで包まれたコカコーラのびんが晩餐会の席に提供されたことに、私はロータリーがこんなことをするのかと驚かされました。

本年４月の規定審議会では標準ロータリークラブ定款の近来稀な大幅改定が行われました。しかしその多くは義務規定ではなく、各クラブの裁量範囲を広げる任意規定の新設です。即ち、義務規定としての改定は、

1)　理事に会計を含む

2)　理事会議事録の作成、及び会員への 60 日以内の回覧
3)　少なくとも①クラブ管理運営委員会、②会員増強委員会、③奉仕プロジェクト委員会、④公共イメージ委員会、⑤ロータリー財団委員会の５つの委員会をクラブ内に設置
4)　出席免除会員になる条件に、少なくとも 20 年以上ロータリアンであることを付加
5)　Ｅクラブの名称と定義の廃止
6)　2017～18 年度以降の人頭分担金引上げ額を現在の年間 USD１から USD4 に変更
7)　職業分類は残すものの、会員身分の条件緩和
8)　ローターアクターとロータリアンの二重登録可能
9)　年会費の徴収義務は残ったが、入会金の徴収義務は廃止

です。

これらは本年７月１日以降遵守しなければならない規定変更ですが、この中で、会員身分の条件緩和、及びローターアクターとロータリアンの二重会員可能は、規定として排除できないものの、新入会員の選考にあたり、別の理由で職業経験の無い人、また、ローターアクターの加入を排除することが可能です。

そして、例外規定として新たに導入された

1)　例会は最低月２回開催すれば良い。
2)　従来の会合型クラブの一部例会をオンライン化できる
3)　祝祭日がある週の例会は休会に出来る

等を採用するか否かはクラブの裁量であり、徴収義務が廃止された入会金を含め、クラブ細則でいかようにも決めることが可能であると同時に、従前の運用形態を継続することも可能です。

また、会合規定で例会のオンライン化が認められているため、名称は別にしてＥクラブの設立が引続き可能です。

しかし逆に言うと、これら緩和された規定に基づき、①入会金無料、②例会は月間２回、③例会の１部をオンライン例会とする、④祝祭日のある週の例会は休会、⑤職業経験の無い人も会員にする、⑥ローターアクターも会員にする等のクラブ運営が可能となります。

ご案内の通り、各クラブはＲＩの管轄下にあり、地区の管轄下にはないため、私または地区は、皆さんのクラブの運営形態について助言はできても、指導・指図することは出来ません。従って、地区として統一した運営基準を提示・指図することは出来ません。

規定審議会の決議は、規定（国際ロータリー細則第８条規定審議会 8.140.2～8.140.7）に基づき、ＲＩ事務総長が規定審議会修了２ヶ月以内に「決定報告書（変更箇所のみ提示）」を各クラブに送付（実際は６月 11 日に発送済）、その後２ヶ月以内（今年は８月 15 日）にクラブは規定改定に反対の意思表示が可能です。そして、反対投票が有効投票の５％以上あった場合は、全クラブ対象に当該改訂に対する賛否を郵便投票で問い、否決されない限り全ての改定は本年７月１日発効となります。このような手続きがあるため和訳標準ロータリークラブ定款等を掲載した手続き要覧発行は年末になるのが慣例です。

しかし、今年は大きな改定があったためか、地区より各クラブに８月 15 日付でご案内した通り、和訳した「国際ロータリー定款」、「国際ロータリー細則」、「標準ロータリー定款」が MY Rotary に既に発表されています。そしてその内容は、①第９条の例外規定が第７条ではなく第 10 条であること、②第 10 条（旧第７条）会員身分第５節の「本クラブの正会員であると同時にローターアクトクラブの会員になることは出来ない」は削除、並びに、③第３条から第６条の順番が異なる点を除き、地区が５月末に各クラブにご案内した「2016-17 年度クラブ細則作成の参考」の内容と同じです。

皆さんには、この度発行された和訳「標準ロータリー定款」の内容をしっかり確認し、標準ロータリークラブ定款で定められた規定の中で、クラブがどのような運営形態を採るかを会員間で十分に話し合い、クラブ細則に反映していただく必要があります。そして、各クラブの運営形態に差異が出た場合、会員のクラブ間移動が発生する可能性が否めないことにも留意して下さい。

尚、国際ロータリー定款第 10 条　規定審議会　第２節　時期及び場所に基づき、規定審議会開催時期が３年毎の４月、５月、６月のいずれかと規定されていますが、他方、国際ロータリー細則第８条　規定審議会 8.140.8　審議会決定の発効日が当該年の７月１日となっています。

従って、規定審議会開催日と決議の発効日が接近している現行規定では、３年毎に混乱が生ずる可能性が高いため、次回規定審議会で、是非、この点の改訂をすべきと考えます（今回も提案があったが否決された）。

成田空港南ＲＣの皆さんは、ロータリーの基本に沿った活動を今後とも展開されると思いますが、変化する

ロータリーの現実を理解する共に、各クラブが採る色々な運営形態を認める寛容さ、広い心を持って今後の活動に取組んでいただくようお願いします。

以上を以って卓話とさせていただきますが、最後に、９月 13 日に開催する地区大会記念ゴルフ大会（これは既に予約を締め切りましたが）、及びＲＩ会長代理にロータリーの樹考案者の渡辺好政元ＲＩ理事をお招きして９月 24・25 日に成田市で開催する地区大会（２日目の記念講演は、日曜日朝のＴＶ番組サンデーモーニングでおなじみの日本総研会長寺島実郎氏による「世界情勢と日本経済の将来展望」）の紹介、及び多数の皆様の参加をお願いして、話を終わります。どうもありがとうございました。

## ニコニコボックス

青柳誠君・越川忠君・齋藤逸朗君・土屋俊夫君
向後雅生君・冨一美君・鈴木恭一君・内田裕雄君
小林定雄君・石田喜一君・前川成吉君・古西弘和君
行木英夫君・市原豊彦君・伊藤元雄君・小川佐内君
渡邊孝文君・倉石昌治君・安藤卓造君・上原広嗣君
鈴木匡哉君

…RI2790 地区ガバナー青木貞雄様ようこそご来訪いただきありがとうございます

| | |
|---|---|
| 本日計 | 21,000 円 |
| 累　計 | 127,000 円 |

## 出席報告

| 例会日 | 会員数 | 出席 | 出席率に用いる数 | % |
|---|---|---|---|---|
| 8 月 25 日 | 36 | 22 | 32 | 75.0 |

☆ 欠席をしたらメークアップをしましょう ★

## クラブ協議会

議長　市原幹事

議題　①ロータリー全般に対する会員からの質問
②例会、出席、メーキャップなどについて
③クラブで特にアピールしたい事
長所や短所、問題点など何でも結構です
④その他

ROTARY CLUB
国際ロータリー第２７９０地区　２０１６～２０１７年度
Rotary
歓迎
青木 貞雄ガバナー公式訪問例会
２０１６・８・２５ 成田空港南ロータリークラブ

# 懇 親 会

あづま庵